



日本共産党市会議員 かたやなぎ 進

片柳すすむ 市政報告

発行 日本共産党 川崎市議会議員団
川崎市宮本町1番地 第2市庁舎7階
TEL 200-3360 FAX 245-4140
その他の連絡先 TEL 246-6823

JR東日本と交渉。八丁畷駅東口・西口へのエレベーター設置、川崎新町駅前の踏切の安全対策などを要望

八丁畷駅・川崎新町駅——安全最優先の踏切へ

八丁畷駅での踏切事故 人命最優先で再発防止を

3月17日まで開かれた、市議会第1回定例会で、片柳市議はブラックバイト対策、大学奨学金の充実、踏切の安全対策などについて質問しました。JR東日本への安全対策の要請行動や性的マイノリティへ支援施策の視察等とあわせて報告いたします。

4月15日に起きた京急八丁畷駅での踏切死亡事故の翌日、現地でご冥福をお祈りした後、状況確認をしました。人命最優先の立場での再発防止策が求められています。



八丁畷駅前踏切

この踏切は小・中学校児童の通学路であり、朝8時頃は通学のピークの時間帯であり、歩道の拡張や監視員の配置などの対策が求められます。

①通学児童・生徒の安全確保
②東口・西口にエレベーター設置を
車いすやベビーカーなどが踏切内で立往生する危険性を減らすために、エレベーターの設置が必要です。

八丁畷駅周辺には福祉センターやふれあいプラザなど、高齢者や障がいのある方々が利用される施設が集まっています。

今月号の内容

- ▼1面
 - ①八丁畷駅踏切事故-人命優先で再発防止を
 - ②川崎新町駅前踏切-JRに要請
 - ③ブラックバイト対策-リーフ配布が実現
 - ④住民要望/大島上町の認可保育園業者決定
- ▼2面
 - ①市民の声/川崎新町駅踏切の安全対策を
 - ②2017年度の各常任委員会・委員が決定
 - ③【視察報告】性的マイノリティ支援施策
 - ④大学奨学金の拡充を
 - ⑤コラム/「核兵器禁止条約」にむけて

川崎新町駅前の踏切 安全対策をJRに要請

片柳市議は、3月30日、はたの君枝衆院議員と地域住民のみなさんと共にJR横浜支社に対して踏切や駅ホームの安全対策について申し入れました。

川崎新町駅前踏切について、通路の拡幅およびカラー化、縁石



JRの担当者に要望書を渡す、片柳市議・はたの君枝衆院議員ら。



の改善などの安全対策を求めたのに対し、JR側は「最重要課題としてカラー化を道路管理者と協議している」と述べるとともに、縁石については今後道路管理者との協議が必要だが、JRとしてはなるべく平らにしたいとの考え方を示しました。

「八丁畷駅の西口側にもエレベーター設置を」との要望に対しては、「東口は今年中に設置予定だが、西口側については当面予定していない」との回答でした。

JR川崎駅へのホームドアの設置について、担当者は、京浜東北線については「2020年以降に設置工事に着手する」と述べましたが、南武線と東海道線については「ホームドアへの対応には課題も多いので、もう少し検討の時間が必要」と答えました。

ブラックバイト対策 権利周知のリーフ配布へ

3月7日の予算審査特別委員会でブラックバイト対策について質問。市内企業への働きかけ、市内の高校等にわかりやすく働く権利を啓発することなどを求めました。

今年1月、大手コンビニ店で「『出勤時に本人が代わりのアルバイトを確保しなかった』という理由で罰金」「恵方巻の販売ノルマを達成できないと罰金」などニュースになった事例を紹介。事業所を対象にブラックバイト防止のための権利周知の取組みを行なうよう求めました。

次に、厚労省がわかりやすい事例を示したQ&Aを作成していることを紹介。高校生・学生向けに働く権利を知らせるよう求めました。



経済労働局長は「就職説明会参加企業の離職率などの情報を知らせている」「ブラックバイトへの関心の高まりをふまえてマンガ等を使ってわかりやすく知識をまとめた『はたらくためのリーフレット』(右写真)を5千部作成した」と答えました。

大島上町の認可保育園業者決定

大島上町につくられる認可保育園の設置・運営法人が決まりました。



来年4月1日オープンで定員は60人。高津区で2つの保育園を運営する社会福祉法人 尚徳福祉会が設置・運営します。

渡田六ツ角近くのこの市有地について、地域の方々から「市民に役立つ施設にしてほしい」という要望が出されていました。

